

指定管理者制度導入施設 最終評価シート

1 基本情報

公の施設名	相模原市立緑第一障害者地域活動支援センター
指定管理者名	特定非営利活動法人湘北福祉会やまのべ
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日
施設設置条例	相模原市立緑第一障害者地域活動支援センター条例
施設の設置目的	障害者が地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、相談支援を行い、創作的活動又は生産活動の機会を提供し、社会との交流の促進を図るとともに、日常生活に必要な便宜の供与を行い、もって障害者の福祉の増進に寄与する。(条例第2条)
施設概要	開館時間：午前9時30分から午後6時まで 休館日：日曜日及び12月29日から翌年の1月3日まで 年間開所日数：306日 施設延床面積：312.78㎡ 主な施設：1階 フリースペース、作業スペース、相談室、静養室、台所、ダイニング、浴室、脱衣室、事務室等 2階 管理スペース（和室）
施設所管課	健康福祉局地域包括ケア推進部高齢・障害者福祉課

2 管理実績

項目（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数合計（人）	3,758	2,784	3,151	2,911	3,260
利用料金合計（円）	570,408	226,190	513,425	515,560	518,199

3 成果指標の達成度

評価（5評価）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点
	S	B	B	D	C		

指標1

指標名（単位）	利用者総数 単位：人
指標式と指標の説明	施設に通所し日中活動等への参加や、障害者の不安を解消する総合相談事業の利用により、障害者の地域における自立した日常生活や社会生活の促進が図られるため、利用者総数（年間延べ通所者数+総合相談延べ人数）を成果指標とする。

項目（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（人）	5,000	5,100	5,200	5,300	5,400
実績値（人）	5,800	4,727	4,884	4,233	4,514
達成度（%）	116.0%	92.7%	93.9%	79.9%	83.6%

4 事業の実施状況

評価（5評価）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点 15
	A	A	A	A	A		

市が指定する事業

主な事業名	内容等	効果等
基本相談支援	電話相談、面談相談、メール、同行・訪問、ケース連携	10代や20代の利用者が増え、SNSやメール相談の希望者が増えてきている。定期的なメール等でのやり取りを行うことで、利用の定着に繋がっている。 メール相談：令和元年度8件→令和5年147件
家族相談支援	電話相談、面談相談等	本人だけでなく、家族と相談を通じて関わることで、本人の状況や家族支援に繋がっている。 家族相談支援：平均20件／年
訪問等相談支援	訪問・同行支援	本人や家族の高齢化に伴い、通院や入院同行の相談が増えてきている。通院同行をすることで症状の理解や社会生活の支援の見立てが行いやすい。支援者と本人との信頼関係をより構築させることができた。 訪問・同行支援：平均22件／年
生活支援事業	○食事提供 ○プログラム活動等 ○生産活動 請負作業、自主製品の製作販売	この5年で、週3日から週6日の食事提供日数を増やした。物価高の影響により、食事メインでの来所者が増えた。 食事提供人数：令和元年1,448人→令和5年2,354人
地域交流事業	地域住民や関係機関を対象とした講演会や研修会の開催、地域で活動する団体との連携等	フリースペースを地域の方へ開放することで、利用者と地域の方との交流が継続できている。(100歳体操・センター祭り等) また、地域の方に当センターの事業内容を理解していただくことで、サービスや関係機関に繋がっていない方のアウトリーチに繋がる情報収集の場ともなった。
交流できる場の提供	○フリースペース ○管理スペースの活用 (家族会、自治会等の活動場所の提供)	フリースペース利用者数：平均3,172人／年

企画提案事業

主な事業名	内容等	効果等
(なし)		

自主事業

主な事業名	内容等	効果等
(なし)		

5 利用者の満足度

評価（5評価）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点
	B	B	B	C	B		9

利用者満足度調査

調査手法	登録者へアンケートを配布（郵送及び手渡し）
目標値の基準	「全体を通して、当センターに満足していますか？」の問いに対する5段階評価のうち「大いに満足している」「満足している」「どちらともいえない」と回答した方の割合

項目（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（％）	92.3	92.9	93.5	94.1	94.7
実績値（％）	92.1	92.1	87.9	83.8	87.5
達成度（％）	99.8%	99.1%	94.0%	89.1%	92.4%

利用者意見の把握に資するその他の取組

主な取組事項	取組内容
運営協議会	地域の関係機関からの意見を幅広く聴取する場として開催。新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮し中止したが、各関係機関と連携をとりながら意見を頂戴した。また、令和5年度においては民生委員との見学を兼ねての意見交換会を実施した。
意見箱	随時、利用者との面談にて意見、要望を聴取するが補完として意見箱を設置
利用者ミーティング	作業終了時に行っているミーティングに職員が同席し、必要に応じて利用者より意見を聴取。また、運営側の対応に関する課題も取り上げている。

利用者意見に対する対応

主な意見	対応内容
お昼の回数の増加とメニューのリクエスト	地域のともしび喫茶と食事委託契約を結び、週6日の提供を実施することができた。また、メニューについては意見箱や満足度調査・メニュー決めの日利用者さまへ意見を頂戴した。
コロナが落ち着いたら外出レクをして欲しい。	新型コロナウイルス感染対策をしながら、数日に分け少人数での近隣のドライブを実施。また、無人販売店に協力を得て、館内での移動販売を実施するなど工夫をした。
自主製品作りを再開して欲しい	コロナ渦では、布マスクの作成のみだったが、感染が落ち着きマスクの需要が無くなった。その頃から、マスク作成で使い残っている布で、クリスマスリースやエコバックの作成を行い、センター祭りや地域のお祭りでの販売、ともしび喫茶青林檎での販売を行っている。

6 施設の経営状況

評価 (5評価)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点
	S	S	S	S	D		

施設の収支概要

(千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収入 (a)	29,199	28,428	28,680	28,093	28,567
指定管理料	25,581	25,332	25,565	25,459	25,925
利用料金収入	570	226	513	516	518
生産活動収入	1,124	1,025	0	0	438
その他の収入	1,924	1,845	2,602	2,118	1,686
支出 (b)	25,690	24,903	27,181	27,418	30,242
人件費	19,297	18,776	21,013	20,223	22,165
本社管理経費	5,688	5,457	6,168	7,195	7,666
生産活動支出	705	670		0	411
その他の支出	0	0			
本体事業収支 【(a)-(b)】(c)	3,509	3,525	1,499	675	-1,675
自主事業収入 (d)					
自主事業支出 (e)					
自主事業収支 【(d)-(e)】(f)	0	0	0	0	0
全体収支 【(c)+(f)】	3,509	3,525	1,499	675	-1,675
備考	生産活動の内、収益のある作業を就労継続支援B型事業所に移行したため、令和3年度、4年度は生産活動収入は無し。令和5年度より収益のある活動を再開した。 令和5年度は修繕や備品の買い替えにより支出が多かったが、不足分は繰越金を充当した。				

7 管理業務の履行状況

検査項目	確認結果				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
管理業務	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
危機管理	改善済	改善済	適正に実施	適正に実施	適正に実施
人員配置・地元活用	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
現金管理	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
会計・経理	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
情報セキュリティ	改善済	改善済	適正に実施	適正に実施	適正に実施
情報公開・個人情報保護	改善済	改善済	適正に実施	適正に実施	適正に実施
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
加点の有無	無	無	無	無	無
主な加点内容					

8 指定管理者の自己評価

平成31年度より新型コロナウイルス感染症の影響を受け、レクリエーションや地域交流事業を実施するにあたり制限もあり例年通りの実施とはならなかったが、地域の自治会の協力を得て「100歳体操」の実施や令和4年度より再開された地域の催し物に参加するなど地域交流の継続が行えた。

また、コロナ渦での通所者数の減少はあったが、週6日の開所及び食事提供を継続した。また相談事業に関しては、交通機関の利便性から通所が困難な方に対しては在宅訪問やメール等の支援を広げての実施を行い、相談支援が定着してきた。

交通機関の利便性に於いては通所だけでなく、利用者様の中には、ご自身やご家族が高齢化に伴い公共交通機関での通院が難しい方の相談も増えてきた。I型事業の特性を活かしニーズに応えられるよう、職員体制を整え通所同行を行うなど、さまざまな相談に対応できるよう取り組んできた。

この指定管理5か年は、新型コロナウイルス感染症に影響を受け、制限のある中での施設運営となった。その状況でも、指定管理者として各職員がご利用者様やご家族様からのニーズに応えられるよう、他機関との連携を強化し、コロナ渦で孤立しないよう支援を行ってきた。また、緊急事態宣言が出る中の開所継続をすることで、ご利用者様やご家族の居場所を絶やさず、また地域住民との交流継続させながら施設運営を行ってきた。

9 所管課意見

今回の指定管理期間は新型コロナウイルス感染症の影響があるなか、感染症対策を講じながら週6日の開所と食事提供等を継続したことは評価できる。

相談業務については、交通の便や感染症の関係で対面の相談が難しい方に対し、電話やメールを使って支援を行い、利用者の定着に繋がった。

成果指標の達成が令和2年度以降なされていない。必要な人がもれなく利用できるように、地域活動支援センターの存在の周知や、利用しやすい環境作りなど、次年度からの新たな指定期間において積極的に取り組んでほしい。

R5モニタリングの際の法人提出書類に不備があったことを踏まえ、適切な書類提出について監督していきたい。

10 選考委員会意見

【評価した点】

・新型コロナウイルス感染症の影響で事業が中止となる等、難しい施設の管理運営が求められる中、感染対策を行いながら、事業継続し、障害者の社会参加に貢献したこと。

・障害者支援の津久井地区の拠点施設としての役割を理解し、障害者への理解促進や障害者の社会参加のための地域交流事業などを積極的に行っていること。

【今後に向けて期待すること等】

・今後も利用者が安心・安全に利用できるような施設運営をすること。

・障害者支援の津久井地区の拠点施設として、利用者のニーズに応じた支援を行っていただきたい。

・R5の法人決算書類について、過失があったので、今後は正確な報告ができるように体制を整えてもらいたい。

総合評価（自動判定）

B

(59/100)

